

【指導の重点】自ら学び考えながら、課題に主体的に取り組む子供を育てる。

※「問題解決力」の育成。

教科	学習の現状と課題	目標	具体的な授業改善 (手だて)
1年	<ul style="list-style-type: none"> ・のり、はさみの使い方が難しい児童が数名いる。 ・参考作品などに影響される児童が多い。 ・授業を楽しみ、興味、関心をもち積極的に活動する雰囲気がある。けじめをつけた行動をしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・のり、はさみの基本的な使い方を身に付ける。 ・自分の好きな色や形を見つける。 ・学習における基本的なルールを身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・導入で、わかりやすく説明(手本)をし、ポイントを押さえて指導する。段階別の経験を重ねる。 ・発想が偏らないように幅広い選択肢を示す。 ・間違った使い方を見逃さずに個別指導をする。 ・授業の流れを把握させる。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・友達や参考作品のアイデアを真似したような作品が見られる。発想力の範囲が狭く、個人の興味のあるものに限定される傾向がある。 ・話を聞く、片付けをするなどの基本的なことがよくできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら発想し、アイデアを広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人のよさを引き出すような声かけや、自信をもって取り組めるように個別指導をする。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ・カッター、絵の具などの基本的な使い方が難しい児童がいる。 ・理解力に個人差があり、課題に対する理解や、作業工程の説明など指示の通りにくい児童が数名いる。 ・全体として、授業に対して積極的に楽しむ雰囲気があるが、一度脱線するとけじめがつけられないときがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい道具の使い方を身に付ける。 ・作品の「ねらい」を意識しながら、計画的に取り組む。 ・学習に集中する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・間違った使い方を見逃さずに個別指導をする。 ・授業の流れを把握させ、ねらいを意識づけさせるように板書したり、個別に声をかける。
4年	<ul style="list-style-type: none"> ・個人個人作品に対して「思い」や、こだわりがあり、バリエーションのある作品が見られる。その中で、なかなか進まず、何をしたいのかはっきりしない児童が数名いる。 ・全体として授業への興味関心は高く、楽しく積極的に活動する雰囲気があるが、いざこざがあったり、落ち着かないときがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品に対しての、ねらいや工程を正しく理解し、計画的に進める。 ・自分や、友達の作品のよさを認め合い、気持ちの良いコミュニケーションができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手が進まない児童に対して、明確に指示を出し、見通しをもって作業ができるように促す。 ・全体に対して、よいアイデアや、発言などを見逃さずに褒める。

		<ul style="list-style-type: none"> ・授業に集中する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品を見あったり、鑑賞をしたりお互いのよさを意識させる。
5年	<ul style="list-style-type: none"> ・発想が広がらず、制作する前の段階で固まってしまう児童が数名いる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品に対して「思い」や「考え」を持つ。 ・視野を広げるために、技法や、色、形、工夫の仕方など、経験を通してその効果や意味合いなどを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・選択肢を用意したり、ヒントを与えたり、構えないで、進めるように個別に声をかける。少しでもできていたら褒め、次に進むきっかけを作る。
6年	<ul style="list-style-type: none"> ・視野が狭く、発想が広がらない児童が数名いる。 ・個人によって学習意欲にむらがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の「ねらい」を意識しながら、計画的に取り組む。 ・技法や、色、形、素材などの組み合わせによる効果を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・板書や、声かけなどで意識づけさせる。すべきことを明確にして、取り組ませる。 ・取り組みの様子や、発言など、全体や個人に対して褒める。